

水性バクテリアによる生ごみ・石油高速処理技術

概要と特徴

生ごみ・石油を水性微生物により1日程度で排水基準を満たす浄化された水に処理する技術。悪臭と残さ（残りカス）は出ない。

高さ2m×幅3m×奥行1mの樹脂製かごの中に、有機物を分解する数千種類の水性バクテリアを担持する菌礁物体を分散して設置し、このかごの上方から、生ごみ等の有機物を特殊ミキサーで液状にてシャワーで落とす。何度もポンプで汲み上げて循環処理する。1日で30kgの処理ができる。



用途

- (1) レストラン、給食施設、スーパー等における骨・貝等の固形物を含む生ごみの処理
- (2) 海水中に流出した原油等の油を含んだ汚水の処理にも適用可能。
- (3) プラスチックは粉碎、パウダー化が必要。

技術移転

- (1) 形態 特許実施権供与 共同研究開発
生産委託
- (2) 相手先 企業規模不問
- (3) 地域 国内外いずれでもよい

実用化・情報

〔試作・実験〕完了
 〔製造・販売実績〕有
 〔技術情報の提供〕技術資料、パンフレット
 〔連絡先〕マイクロエクスコム(株)
 〒452-0841
 愛知県名古屋市西区域西町48-2
 TEL.052-503-0221 FAX.052-504-8518

特許等

関連特許あり